

PHILIPS



フィリップス FMラジオドッキングスピーカー

品番 **AJ7260D**

取扱説明書

保証書付

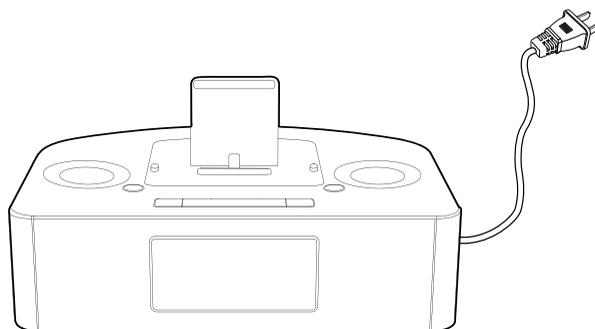
保証書は、この取扱説明書の最終ページについておりますので販売店で記入を受けてください。

フィリップス FMラジオドッキングスピーカーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。長い間ご愛用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

また、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

商品のご確認

商品をご確認ください



本体

※改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

目次

● はじめに	商品のご確認 1 目次 2 必ずお守りください 3~5 接続できるiPod/iPhone/iPad 6 各部の名称 7・8
● ご使用方法	本体の準備 9・10 電源の入れ方 11 音の調節 12 iPod/iPhone/iPadの接続／取り外し iPod/iPhone/iPadの充電の仕方 13 iPod/iPhone/iPadを使って音楽を聴く 14 ラジオを聴く 15・16 アラームを使う 17・18 外部機器を使って音楽を聴く 19 故障かな?と思ったら 20・21
● 英文解説	Guidance in English 22~38
● 保証	保証とアフターサービス 40 仕様／フィリップスサポートセンター 41 無料修理規定 42 保証書 最終ページ

必ずお守り ください

安全上のご注意

- ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- 誤った取扱いをしたときに想定される内容を「警告」と「注意」とに区別しています。

○絵表示について



記号は、「危険、警告、注意」を示します。
図の中や近くに具体的な注意内容を示します。



警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。



注意 人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が
想定される内容。

○絵表示の例



・記号は、してはいけない「禁止」を示します。図の中や近くに具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)を示します。



・記号は、必ずしていただく「強制」を示します。図の中や近くに具体的な強制内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜くこと)を示します。



iPod/iPhone/iPad/その他外部機器との接続時のご注意

誤った取扱いをすると、iPod/iPhone/iPad/その他外部機器の内部に保存されているデータが破損したり消失する可能性があります。必ず事前にバックアップをしてください。

本製品を使用したことによるデータの破損または消失について、いかなる場合においても当社では責任を負いかねます。データの復元、再インストール、損失補償などはいたしません。また、他社の機器に対する保証や修理も一切行っておりません。あらかじめご了承ください。



警告



煙や異臭、異音が出たり、落下や破損したときはコンセントから電源コードを抜く。

そのまま使用すると、事故の原因になります。必ず使用を中止し、お買い上げの販売店またはフィリップスサポートセンターにご相談ください。



本製品の内部に金属物や燃えやすいものを入れない。

事故や故障の原因となります。



分解・修理・改造をしない。

事故や故障の原因となります。修理はお買い上げの販売店またはフィリップスサポートセンターにご依頼ください。



水の近くで使用しない、水にぬらさない。

本製品に水が入ったり、ぬらさないようにご注意ください。事故や故障の原因となります。

警告



雷が鳴ったら本体や電源プラグ部に触らない。
感電の原因となります。



ぬれた手で電源プラグ部の抜き差しをしない。
感電の原因となります。



電源コードの破損に注意する。
電源コードを傷付けたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたり、重い物を載せたり、挟み込んだり、加工したりしない。電源コードが破損し、火災や感電の原因となります。



電源プラグ部は確実に差し込む。
差し込みが不完全な場合、感電・発火の原因となります。



電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因となります。



電源プラグ部のほこりや汚れを取る。
ほこりや汚れがたまると、火災の原因となります。電源プラグ部を抜き、やわらかい乾いた布でふいてください。



長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグ部を抜く。
長期間通電した状態で保管したり放置すると、絶縁劣化や漏電などにより火災の原因となります。



乾電池が消耗した場合、すぐに交換する。
放置すると乾電池の液もれ・発熱・破裂の原因となります。また、長期間使用しない場合は乾電池を取り出してください。



自動車など乗り物の運転中は使用しない。
運転の妨げになり事故の原因となります。



通気孔をふさがない。
本体内部に熱がこもり、変形・発火・火災の原因となります。

注意



置く場所に注意する。
油煙や湯気が当たる場所に置かない。温度が高くなる場所や、熱を発生する機器のそばに置かない。直射日光の当たる高温の自動車内に置かない。湿度やほこりの多い場所に置かない。事故や故障の原因となります。



不安定な場所の上に置かない。
ぐらつく台や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてケガの原因となることがあります。



本体の上に物を載せない。
重量で外装が変形したり破損するなど、故障の原因となることがあります。また、載せた物が落下したり倒れたりし、事故や故障の原因となることがあります。



お手入れは、やわらかい乾いた布でふく。
水や液体洗剤、シンナー、ベンジンなどを使わないでください。



大音量で使用しない

「適切な音量」に設定する。

「音」は感覚的なものなので、あてになりません。時間とともに、聴覚の「快適なレベル」は大音量に順応してしまいます。長時間聴いていると「普通」だと思っている音が、聴覚にとっては大音量で害のあるものになっている可能性があります。これを防ぐため、下記のように聴覚が大音量に順応する前に音量を安全なレベルに設定してください。

「適切な音量」の設定方法

- 1 音量を最小に設定してください(P.12「音の調節」の項をお読みください)。
- 2 音がゆがみなくはっきりと快適に聞こえるまで「ゆっくりと」音量を上げてください。
- 3 耳が疲れない程度の適度な音量と使用時間で聴いてください。



注意

- 一般的に「安全な」音量であっても、長時間・長期にわたって音を聴き続けた場合、聴力障害を引き起こすことがあります。
- 本製品は適度に使用し、長時間連続で使用せず、必ず休憩を取るようにしてください。
- 聴覚が順応するままに、音量を上げないよう気をつけてください。
- 周囲の音が聞こえなくなるほど音量を上げないでください。

Lightningコネクタ、または30ピンDOCKコネクタを持つ以下のiPod/iPhone/iPadに対応しています。

(2013年8月現在)

接続できる
iPod/iPhone/iPad

Made for
iPod iPhone iPad

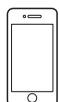
DOCK 1



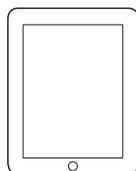
iPod nano
(第7世代)



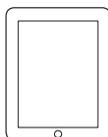
iPod touch
(第5世代)



iPhone 5



iPad (第4世代)

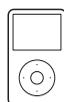


iPad mini

DOCK 2



iPod nano
(第2~6世代)



iPod classic
(80/120/160GB)



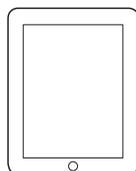
iPod touch
(第1~4世代)



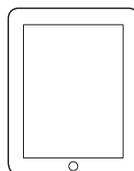
iPhone
iPhone 3G



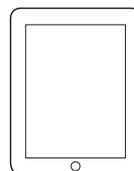
iPhone 4
iPhone 4S



iPad



iPad 2



iPad (第3世代)

- 「Made for iPod/iPhone/iPad」とは、iPod、iPhone、iPad専用に接続するよう設計され、アップルが定める性能基準を満たしているとデベロッパによって認定された電子アクセサリであることを示します。
- Apple Inc.は、本製品の機能および安全および規格への適合について一切の責任を負いません。
- iPod nano、iPod classic、iPod、iPod touch、iPadは、Apple Inc.の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- 日本におけるiPhoneの商標はアイホン株式会社のライセンスに基づきApple Inc.が使用しています。

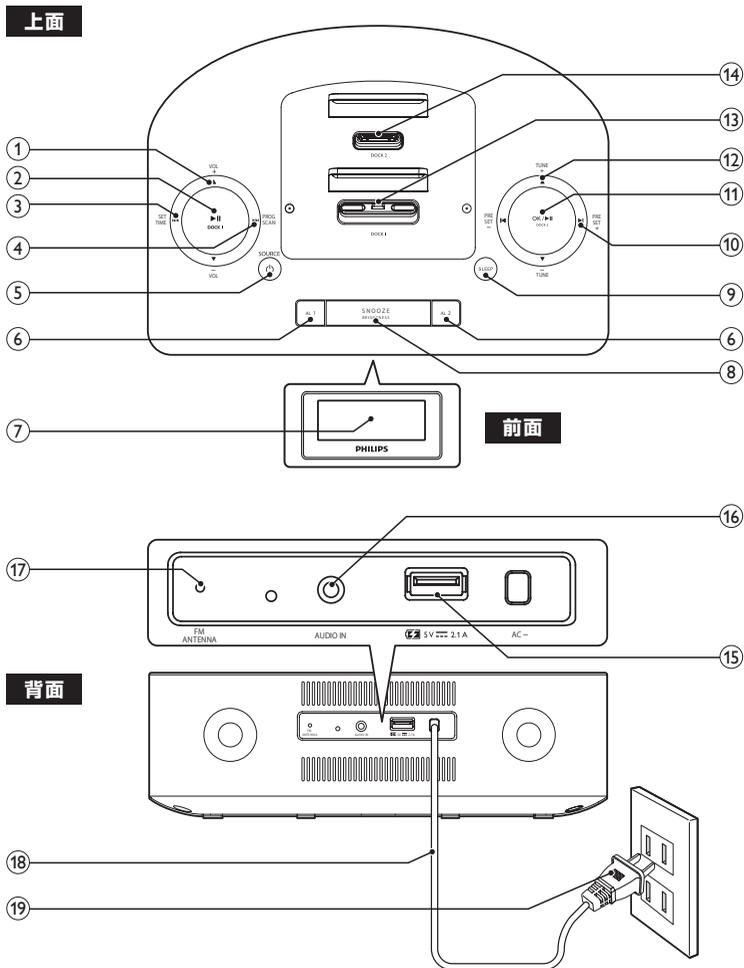


注意

- 対応以外のiPod/iPhone/iPadを本製品に接続しないでください。本製品で対応していないiPod/iPhone/iPadの動作は保証していません。
- 対応しているiPod/iPhone/iPadでも、ソフトウェアのバージョンが古い場合は本製品で操作できないことがあります。その場合はソフトウェアのバージョンアップを行ってください。
- iPod/iPhone/iPad本体の操作方法やソフトウェアのバージョンアップ方法は各製品に付属している説明書などをお読みください。
- 機種やソフトウェアのバージョンによって異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の利用には支障ありません。

各部の名称

本体



① VOL+/VOL-ボタン

- ・「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。

② ▶II/DOCK1ボタン

DOCK1モード

- ・DOCK1のiPod/iPhone/iPadの再生と一時停止ができます。

その他のモード

- ・DOCK1の音源に切り替えられます。

③ I◀◀/SET TIMEボタン

スタンバイモード

- ・時刻、日付を設定します。

DOCKモード

- ・iPod/iPhone/iPadの再生中に長押しすると巻戻しができます。

その他のモード

- ・FMラジオ受信時に長押しすると、ステレオとモノラルを切り替えられます。
- ・DBB (Dynamic Bass Boost) 機能をON/OFFできます。DBB機能をONにすると、低音が強調され、音量が小さい時も迫力のある音を楽しめます。
- ・DSC (Digital Sound Control) 機能に切り替えられ、ROCK、JAZZ、POP、CLASSIC、FLATの5つの音響効果から選択できます。

④ ▶▶I/PROG/SCANボタン

DOCKモード

- ・iPod/iPhone/iPadの再生中に長押しすると早送りができます。

FMモード

- ・FMラジオ局を設定する時に使用します。
- ・複数のラジオ局を自動的にスキャンします。

⑤ ◻/SOURCEボタン

- ・本体の電源を入れる時や、スタンバイモードに切り替える時に使用します。
- ・アラームを止める時に使用します。
- ・音源を選択する時に使用します。音源は、DOCK1、DOCK2、FMラジオ、AUDIO IN (外部機器)の順に切り替えられます。

⑥ AL1/AL2ボタン

- ・アラームタイマーを設定する時に使用します。
- ・アラーム設定のON/OFFができます。
- ・アラーム音を止める時に使用します。
- ・アラーム設定を表示します。

⑦ 表示パネル

- ・日時や再生状況、アラームの設定・使用時など、本体の状態を表示します。

⑧ SNOOZE/BRIGHTNESSボタン

- ・アラームタイマーを繰り返す時に使用します。
- ・表示パネルの明るさを4段階で切り替えられます。

⑨ SLEEPボタン

- ・スリープタイマーを設定します。

⑩ ◀/▶I/PRESET+/PRESET-ボタン

DOCKモード

- ・iPod/iPhone/iPadの再生時に押し、前後の曲にスキップします。また、長押しすると巻戻し・早送りができます。

FMモード

- ・設定したFMラジオ局を選択する時に使用します。

⑪ OK/▶II/DOCK2ボタン

DOCK2モード

- ・DOCK2のiPod/iPhone/iPadの再生と一時停止ができます。

その他のモード

- ・DOCK2の音源に切り替えられます。

⑫ TUNE+/TUNE-ボタン

- ・時刻と日付を選択します。
- ・アラーム設定時間と音量を調節し、音源を選択します。
- ・FMラジオ局の周波数を合わせる時に使用します。

⑬ DOCK1コネクタ端子

- ・LightningコネクタをもつiPod/iPhone/iPadを接続する端子です。

⑭ DOCK2コネクタ端子

- ・30ピンDOCKコネクタをもつiPod/iPhone/iPadを接続する端子です。

⑮ USBプラグ受部

- ・USBケーブルを差し込み、iPod/iPhone/iPadを充電することができます。

⑯ オーディオ接続端子

- ・オーディオケーブルを差し込み、外部機器を使って音楽を聴くことができます。

⑰ FMアンテナケーブル

- ・FMラジオの受信感が悪い場合、ケーブルの位置を調整してください。

⑱ 電源コード

**注意**

- 本製品の電源コードは取り外しできません。電源コードを引っ張らないでください。

⑲ 電源プラグ部

本体の準備

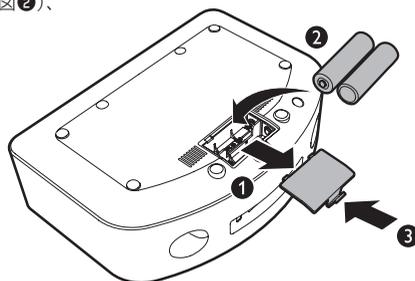
乾電池を入れる

本体に乾電池を入れると、停電時や、コンセントから電源プラグ部を一時的に抜いた場合も時刻やアラームなどの各設定が残ります。

電源を抜いて本体を他の場所に移動したい場合などは、乾電池を入れておくことをおすすめします。

※長時間にわたって電源が切断された場合は、設定が消えることがあります。

- 1 本体底の乾電池ホルダーカバーのツメを引き上げて、乾電池ホルダーカバーを取り外します(図①)。
- 2 乾電池ホルダーに、単3形乾電池を2本入れ(図②)、乾電池ホルダーを閉じます(図③)。



単3形乾電池2本

※乾電池を入れる時は「+」の向きを乾電池ホルダーに書いてあるイラストの向きと合わせてください。

乾電池は本体動作ではありません。



注意

- 本製品は、コンセントに電源プラグ部を差し込んで動作します。本体に入れる乾電池(付属していません)は時刻やアラームなど、各設定のバックアップ用です。乾電池のみを電源とした場合、アラーム音はブザー音のみとなります。
- 本製品は乾電池を入れなくても動作しますが、電源が切断された時に各設定が消去されます。



警告

乾電池の液漏れ・発熱・破裂防止のために、次のことをお守りください。

- 乾電池を熱源、直射日光、裸火に近づけない。
 - 乾電池を火の中に捨てない。
 - 乾電池が消耗した場合、すぐに交換する。
 - 長期間使用しない場合は乾電池を取り出す。
 - 新しい乾電池と古い乾電池、異なった種類は混ぜない。
 - 乾電池の「+」は正しい向きで入れる。
- また、ご使用済みの乾電池は、各自治体の処理方法に従い廃棄してください。

時刻と日付を設定する

iPod/iPhone/iPadをDOCKに接続すると、数秒後に自動的に時刻と日付を同期します。

また、下記のように手で設定することもできます。

- 1 スタンバイモードの状態です。SET TIMEボタンを2秒間押し続けます。
※最初に【24H】が点滅し、そのあとでピッという音が鳴ります。
- 2 TUNE+ボタンまたはTUNE-ボタンを押すと、12時間表示と24時間表示を切り替えられます。
- 3 OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)を押して確認します。
※最初に00:00が表示され、そのあとで時刻の数字が点滅を始めます。
- 4 TUNE+ボタンまたはTUNE-ボタンを押して、「時」を調整し、OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)を押して確定します。
- 5 4の手順を繰り返し、「時」「分」「日」「月」「年」の順に設定します。完了するとピッという音が鳴ります。
※12時間表示では【月-日】の順に表示されます。
24時間表示では【日-月】の順に表示されます。

時刻と日付設定の流れ

スタンバイモード

SET TIMEボタン約2秒
※TUNE+/TUNE-ボタン
で12時間表示と24時間表示を切り替え

「時」設定

OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

「分」設定

OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

「日」設定

OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

「月」設定

OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

「年」設定

OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

設定完了



注意

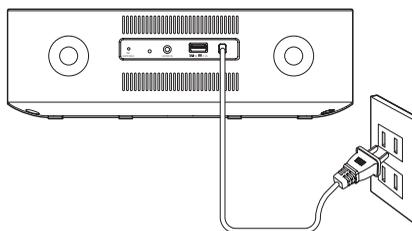
- iPod/iPhone/iPadを同期した場合、iPod/iPhone/iPad側の時刻と同じように表示されます。
- 手動で時刻と日付を変更すると、iPod/iPhone/iPadを接続しても時刻と日付は同期しません。再び同期するには、本体の設定をリセットしてください。
- 本体の乾電池を取り外し、電源プラグ部をコンセントから抜くと、本体の時刻と日付設定をリセットできます。

電源の入れ方

コンセントにつなげる

海外(100~240V)でのご使用も可能です。ただし、コンセントの形状や電圧など現地で充分お確かめのうえでご使用ください。

- 1 ご家庭のコンセントに電源プラグ部を差し込みます。
- 2 コンセントにつなげると、スタンバイモードになります。



注意

- 長期間使用しない場合は、コンセントから電源プラグ部を抜いてください。
- コンセントから抜く時は、電源プラグ部を持って引き抜いてください。絶対に電源コードを引っ張らないでください。
- 本製品の電源コードは取り外しできません。電源コードを引っ張らないでください。

スタンバイモードへの切り替えと解除

- 1 スタンバイモードに切り替えるには、本体の  ボタンを長押しします。
※時刻と日付設定前のスタンバイモードは、表示パネルに「--:--」のみ点滅します。
設定後のスタンバイモードは、表示パネルに日付が表示されます。
- 2 スタンバイモードを解除するには、本体の  ボタンを押します。スタンバイモードを解除すると、最後に選択した音源に切り替わります。

音の調節

音量の調節

- 再生中に本体のVOL+/VOL-ボタンを押すと、「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。
- 「VOL-」ボタンを押し続けると音量が下がり続け、無音になった時に本体の表示パネルに「V-00」と表示されます。
- 「VOL+」ボタンを押し続けると音量が上がっていき、最大音量になった時に本体の表示パネルに「V-32」と表示されます。



注意

- 音量の上げすぎにはご注意ください。
(P5「適切な音量」の設定方法」の項をお読みください。)

低音を強化する

- 再生中にSET TIMEボタンを押すとDBB (Dynamic Bass Boost)機能がON/OFFできます。
- DBB機能がONの時は、表示パネルに「DBB」マークが表示されます。
- DBB機能をONにすると、低音が強調され、音量が小さい時も迫力のある音を楽しめます。

音響効果を選ぶ

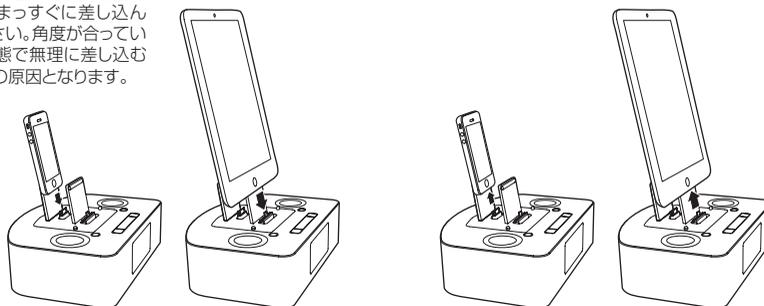
- 再生中にSET TIMEボタンを押すと、DSC (Digital Sound Control) 機能に切り替えられ、ROCK、JAZZ、POP、CLASSIC、FLATの5つの音響効果から選択できます。
- 標準の音はFLATです。お好みでROCK、JAZZ、POP、CLASSICの音響効果をお楽しみください。

iPod/iPhone/iPadの 接続／取り外し

【接続する】

DOCK1コネクタ端子またはDOCK2コネクタ端子に、iPod/iPhone/iPadのコネクタを差し込みます。

※無理な力を加えず角度を合わせてまっすぐに差し込んでください。角度が合っていない状態で無理に差し込むと故障の原因となります。



【取り外す】

iPod/iPhone/iPadを上へ引き抜きます。



注意

- iPod/iPhone/iPadの接続や取り外しはゆっくりと行ってください。
- 長時間使用しない場合は、iPod/iPhone/iPadを本製品から取り外してください。

iPod/iPhone/iPadの 充電の仕方

- 1 電源を入れた状態(P.11「電源の入れ方」)で iPod/iPhone/iPadを本体に接続すると、自動的に充電を開始します。

※iPodの機種によっては、充電表示が現れるまで1分以上かかることがあります。

- 2 充電完了後、iPod/iPhone/iPadを長時間使用しない場合は、iPod/iPhone/iPadを本体から取り外してください。

【USBで充電する】

本体のUSBプラグ受部に、iPod/iPhone/iPad付属のUSBケーブルを接続し、充電することができます。

iOS搭載機種と搭載していない機種では、操作方法が異なります。

iPod/iPhone/iPadを使って音楽を聴く



注意

- 機種やソフトウェアのバージョンによって異なる動作や表示などを行う場合がありますが、基本的な音楽再生の利用には支障ありません。
- iPod/iPhone/iPad本体の操作方法などは各製品に付属している説明書などを、お読みください。

iOS搭載機種

- ・ iPod touch (第1~5世代)
- ・ iPhone
- ・ iPhone 3G
- ・ iPhone 3GS
- ・ iPhone 4
- ・ iPhone 4S
- ・ iPhone 5
- ・ iPad
- ・ iPad 2
- ・ iPad (第3世代)
- ・ iPad (第4世代)
- ・ iPad mini

iOSを搭載していない機種

- ・ iPod nano (第2~7世代)
- ・ iPod classic (80/120/160GB)

- 1 iPod/iPhone/iPadを本体に接続します。
- 2 本体のSOURCEボタンを押し、iPod/iPhone/iPadを接続した方のDOCKを選択します。
- 3 iPod/iPhone/iPadを操作して、再生したいアプリを起動します。
- 4 下記の2つの方法で操作します。

- 1 iPodを本体に接続します。
- 2 本体のSOURCEボタンを押し、iPodを接続した方のDOCKを選択します。
- 3 下記の2つの方法で操作します。

●iPod/iPhone/iPad側で直接操作する場合

本体に接続した状態で、iPod/iPhone/iPadを直接操作して音楽を聴くことができます。

●本体側で操作する場合

▶▶ ボタン(DOCK1)・OK/▶▶ ボタン(DOCK2) 再生と一時停止ができます。

◀◀/▶▶ ボタン 前後の曲にスキップします。長押しすると巻戻し・早送りができます。

VOL+/VOL- ボタン 「VOL+」ボタンで音量が大きくなり、「VOL-」ボタンで音量が小さくなります。

◀◀/▶▶ ボタン 音楽再生中に長押しすると早送り・巻戻しができます。

ラジオを聴く



注意

- 本製品はFMラジオのみ受信できます。
- 本体とFMアンテナケーブルは、テレビやビデオ、携帯電話などの電磁波を発する製品から、なるべく離してお使いください。電磁波が干渉し、ラジオの受信感度を低下させる原因となります。
- 受信状態を最良にするために、FMアンテナケーブルを完全に伸ばし、位置を調節してください。

ラジオ局の周波数を合わせる

- 1 本体のSOURCEボタンを押し、FMモードを選びます。
- 2 TUNE+/TUNE-ボタンを2秒以上押し、電波の強いラジオ局に自動的に周波数を合わせます。
- 3 2の手順を繰り返し、他のラジオ局の周波数を合わせることができます。

ステレオモードとモノラルモードを切り替える

- 1 本体のSOURCEボタンを押し、FMモードを選びます。
- 2 SET TIMEボタンを長押しすると、ステレオモードまたはモノラルモードに切り替えられます。初期設定はステレオモードです。

自動でラジオ局を設定する

最大20のラジオ局を設定することができます。

- 1 本体のSOURCEボタンを押し、FMモードを選びます。
- 2 PROG/SCANボタンを2秒以上押し、自動プログラムモードを起動します。
- 3 表示パネルには「AUTO」と表示され、自動的に受信感度の高いラジオ局が保存されます。
- 4 自動プログラムモードが終了すると、最初にプログラムされたラジオ局を自動的に受信し、聴くことができます。

手動でラジオ局を設定する

最大20のラジオ局を設定することができます。

※上記、自動プログラムモードでラジオ局を設定した場合も含めて、最大20となります。

- 1 本体のSOURCEボタンを押し、FMモードを選びます。
- 2 TUNE+/TUNE-ボタンを押し、ラジオ局に周波数を合わせます。
- 3 PROG/SCANボタンを押すと、プログラムの番号が点滅するので、PRESET+/PRESET-ボタンで保存したい番号を選択します。
- 4 OK/▶▶ボタン(DOCK2)を押して確定すると、プログラムに受信中のラジオ局が設定されます。
※設定したラジオ局を上書きするには、上記「3」で上書きしたいプログラムの番号を選び、そこに他のラジオ局を設定します。

設定したラジオ局を受信する

PRESET+/PRESET-ボタンを押し、設定したラジオ局を選択します。

アラームを使う

AL1とAL2に、それぞれ異なるアラーム
タイマーを設定できます。



注意

- アラームの使用前に、時刻が正しく設定されていることを確認してください。
(P.10「時刻と日付を設定する」)

アラームタイマーを設定する

- 1 本体のAL1ボタンまたはAL2ボタンを約2秒押し続けると、表示パネルの「AL1」または「AL2」と「時」が点滅し、「AL SET」と表示されます。
- 2 本体のTUNE+/TUNE- ボタンを押して「時」を選択し、OK/▶▶▶ ボタン(DOCK2)で確定します。
- 3 2の手順を繰り返し、「時」「分」「曜日」「音量」「音源」の順に設定します。完了するとピピッと音が鳴ります。

※「音源」で選択したDOCKに、iPod/iPhone/iPadを接続していない場合は、アラーム音が自動的にブザー音に変わります。

※「AL1」と「AL2」に同じ時刻を設定すると「AL1」のアラーム音が鳴ります。

アラームタイマー 設定の流れ

↓ AL1/AL2ボタン約2秒

「時」設定

↓ OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

「分」設定

↓ OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

「曜日」設定

↓ OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

「音量」設定

↓ OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

「音源」設定

↓ OK/▶▶▶ボタン(DOCK2)

設定完了

アラームタイマーのON/OFF、設定の確認、繰り返し、アラーム音の停止

【アラームタイマーのON/OFF】

- アラームタイマーONの時は「AL1」または「AL2」と表示されます。
- アラームタイマーOFFの時は「AL1」または「AL2」の表示はされません。
- ON/OFFを切り替えるには、「AL1」ボタンまたは「AL2」ボタンを押します。

【アラーム設定の確認】

- 「AL1」ボタンまたは「AL2」ボタンを押すと、アラーム設定の内容が表示パネルに表示されます。

【アラームタイマーの繰り返し】

- アラーム音が鳴っている時、SNOOZEボタンを押すと、9分後にアラーム音を繰り返します。

【アラーム音の停止】

- FM、BUZZERの場合：アラーム音が鳴っている時、設定した方の「AL1」ボタンまたは「AL2」ボタン、もしくは0ボタンを押すと、アラーム音が停止します。
 - iPod/iPhone/iPadの場合：OK/▶||ボタン、もしくは0ボタンを押すと、アラーム音が停止します。
- ※アラーム音は停止しますが、設定はそのままなので、再び設定した時間になるとアラームが鳴ります。
- ※0ボタンを押してアラーム音を停止した場合、最後に選択された音源に切り替わります。また、0ボタンを押し続けるとアラーム音が停止するとともに、スタンバイモードに切り替わります。

※コンセントに電源プラグ部を差し込まず、乾電池のみを電源とした場合、アラーム音はブザー音のみとなります。

※アラーム音を停止しないと、アラーム音は30分間鳴り続けます。

※アラーム音は、比較的小さな音で鳴り始め、だんだん音が大きくなり90秒後に設定した音量になります。

スリープタイマーの設定

【スリープタイマーを設定する】

- 一定の時間が経つと自動的にスタンバイモードに切り替わるように設定できます。
- SLEEPボタンを繰り返し押しして120分、90分、60分、30分、15分を選びます。
- スリープタイマーが起動していると表示パネルに、zZが表示されます。

【スリープタイマーを解除する】

- 表示パネルに [OFF] (オフ) が表示されるまで、SLEEPボタンを繰り返し押します。
- スリープタイマーが解除され、表示パネルの zZ が消えます。

外部機器を 使って音楽を聴く

オーディオケーブル(別売)を使って
iPod/iPhone/iPad以外の外部機器
を接続することができます。



注意

- 音量は、接続する外部機器に左右されます。出力の大きい外部機器に接続すると音量が大きく、出力の小さい外部機器に接続すると音量が小さくなります。使用する外部機器の出力に応じて、適切な音量に調節してください。
- 外部機器の出力によっては、大音量が出ることがあります。接続する前に、あらかじめ外部機器の音量は小さくしてください。

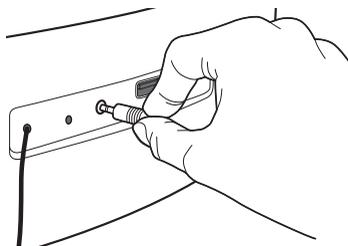
【接続できる外部機器】

- ・3.5mmステレオミニプラグの出力端子を持つ製品
(デジタルオーディオプレイヤー、テレビ、パソコンなど)

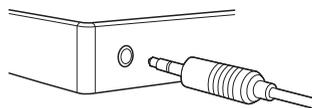
1 接続する外部機器の音量をあらかじめ小さくしておきます。

2 本体のSOURCEボタンを押し、「AUDIO IN」を選びます。

3 本製品のAUDIO IN端子に、3.5mmステレオミニプラグを持つ別売のオーディオケーブルを差し込みます。



4 オーディオケーブルのもう一方を、接続する外部機器の出力端子に差し込みます。



※表示パネルに「AUDIO IN」がスクロールして表示され、次いで日付と時刻が表示されます。

5 接続した外部機器の再生を開始し、外部機器と本製品の音量を調節します。

【外部機器を取り外す】

外部機器の再生を停止し、電源を切ってからオーディオケーブルを取り外します。

故障かな?と思ったら、お調べください。

故障かな? と思ったら

電源が入らない

- ▶ **電源プラグはきちんと差し込まれていますか?**
電源プラグがコンセントにきちんと差し込まれていますか?確認してください。
- ▶ **コンセントが通電していますか?**
コンセントが通電しているか確認してください。
- ▶ **電源コードが断線していませんか?**
電源コードが断線している場合は、ご使用を中止し、お買い求めの販売店もしくは、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

本体からの反応がない

- ▶ **本体の電源を入れなおしてください。**
電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで本体の電源を入れなおしてください。

音が聞こえない

- ▶ **電源が入っていますか?**
電源プラグがきちんと差し込まれているか、コンセントが通電しているか確認してください。
- ▶ **音量が最小になっていませんか?**
本体のVOL+/VOL-ボタンで調節してください。
- ▶ **自動プログラムモードになっていませんか?**
自動プログラムモードになっていないか確認してください。自動プログラムモード中は音がしません。

【iPod/iPhone/iPadを使って聴く場合】

- ▶ **iPod/iPhone/iPadが正しく接続されていますか?**
iPod/iPhone/iPadが本体のDOCKコネクタ端子にきちんと差し込まれているか確認してください。
- ▶ **iPod/iPhone/iPadに正しいデータが入っていますか?**
iPod/iPhone/iPadで再生可能な正しいデータが入っているか確認してください。
正しいデータ形式やデータの入れ方は、各製品に付属している説明書などをお読みください。

【外部機器を使って聴く場合】

- ▶ **3.5mmステレオミニプラグを持つオーディオケーブルが正しく接続されていますか?**
3.5mmステレオミニプラグを持つオーディオケーブルが外部機器と本製品の両方にきちんと差し込まれているか確認してください。
- ▶ **外部機器から音声が出力されていますか?**
外部機器から音声が出力されていないと、本製品から音が出ません。
外部機器の音声出力の方法は、各製品に付属している説明書などをお読みください。
- ▶ **外部機器の音量が最小になっていませんか?**
外部機器の音量を調節してください。

ラジオの受信感度が悪い

▶ **近くに電磁波を発する製品がありませんか？**

本体とFMアンテナケーブルは、テレビやビデオ、携帯電話などの電磁波を発する製品から、なるべく離してお使いください。電磁波が干渉し、ラジオの受信感度を低下させる原因となります。

▶ **FMアンテナケーブルの伸ばし方を調節してください。**

受信状態を最良にするために、FMアンテナケーブルを完全に伸ばし、位置を調節してください。

▶ **ラジオ局の聴取エリア外ではないですか？**

ラジオ局の聴取エリアをご確認ください。

アラームタイマーが作動しない

▶ **時刻は正しく設定されていますか？**

時刻を正しく設定してください。P.10「本体の準備」の項をお読みください。

▶ **アラームタイマーがOFFになっていませんか？**

アラームタイマーをONにしてください。P.18「アラームを使う」の項をお読みください。

時刻やアラームタイマーの設定が消えた

▶ **電源が切断されていませんか？**

電源が切断されていないか、電源プラグがコンセントに正しく差し込まれているかご確認ください。

▶ **本体内の乾電池が切れていませんか？**

新しい乾電池に取り替えてください。P.9「本体の準備」の項をお読みください。

▶ **本体の電源を入れなおしてください。**

電源プラグをコンセントから抜き、再度差し込んで本体の電源を入れなおしてください。

以上の点検により、正常な状態に戻らない場合は、
お買い求めの販売店かフィリップスサポートセンターにお問い合わせ願います。

ENGLISH

AJ7260D

1 Important

Safety

Know these safety symbols



This 'bolt of lightning' indicates uninsulated material within your unit may cause an electrical shock. For the safety of everyone in your household, please do not remove product covering.

The 'exclamation point' calls attention to features for which you should read the enclosed literature closely to prevent operating and maintenance problems.

WARNING: To reduce the risk of fire or electric shock, this apparatus should not be exposed to rain or moisture and objects filled with liquids, such as vases, should not be placed on this apparatus.

CAUTION: To prevent electric shock, match wide blade of plug to wide slot, fully insert.

Important Safety Instructions

- ① Read these instructions.
- ② Keep these instructions.
- ③ Heed all warnings.
- ④ Follow all instructions.
- ⑤ Do not use this apparatus near water.
- ⑥ Clean only with dry cloth.
- ⑦ Do not block any ventilation openings. Install in accordance with the manufacturer's instructions.
- ⑧ Do not install near any heat sources such as radiators, heat registers, stoves, or other apparatus (including amplifiers) that produce heat.
- ⑨ Protect the power cord from being walked on or pinched, particularly at plugs, convenience receptacles, and the point where they exit from the apparatus.
- ⑩ Only use attachments/accessories specified by the manufacturer.
- ⑪ Unplug this apparatus during lightning storms or when unused for long periods of time.
- ⑫ Refer all servicing to qualified service personnel. Servicing is required when the apparatus has been damaged in any way, such as power-supply cord or plug is damaged, liquid has been spilled or objects have fallen into the apparatus, the apparatus has been exposed to rain or moisture, does not operate normally, or has been dropped.
- ⑬ Apparatus shall not be exposed to dripping or splashing.
- ⑭ Do not place any sources of danger on the apparatus (e.g. liquid filled objects, lighted candles).
- ⑮ Where the MAINS plug or an appliance coupler is used as the disconnect device, the disconnect device shall remain readily operable.

Caution

- Remove battery if it is exhausted or will not be used for a long time.
- Batteries contain chemical substances, so they should be disposed of properly.
- Perchlorate Material-special handling may apply. See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate.

- Batteries (battery pack or batteries installed) shall not be exposed to excessive heat such as sunshine, fire or the like.
- Battery usage CAUTION – To prevent battery leakage which may result in bodily injury, property damage, or damage to the remote control:
 - Do not mix batteries (old and new or carbon and alkaline, etc.).
 - Remove batteries when the remote control is not used for a long time.
- Make sure that there is enough free space around the product for ventilation.

Warning

- Never remove the casing of this apparatus.
- Never lubricate any part of this apparatus.
- Never place this apparatus on other electrical equipment.
- Keep this apparatus away from direct sunlight, naked flames or heat.
- Ensure that you always have easy access to the power cord, plug or adaptor to disconnect the apparatus from the power.
- Use only power supplies listed in the user manual.

Notice

Any changes or modifications made to this device that are not expressly approved by Philips Consumer Lifestyle may void the user's authority to operate the equipment.

Disposal of your old product

Your product is designed and manufactured with high quality materials and components, which can be recycled and reused.

Never dispose of your product with other household waste. Please inform yourself about the local rules on the separate collection of electrical and electronic products. The correct disposal of these products helps prevent potentially negative consequences on the environment and human health.

Please visit www.recycle.philips.com for additional information on a recycling center in your area.

Environmental information

All unnecessary packaging has been omitted. We have tried to make the packaging easy to separate into three materials: cardboard (box), polystyrene foam (buffer) and polyethylene (bags, protective foam sheet.)

Your system consists of materials which can be recycled and reused if disassembled by a specialized company. Please observe the local regulations regarding the disposal of packaging materials, exhausted batteries and old equipment.

Made for

 iPod  iPhone  iPad

"Made for iPod," "Made for iPhone," and "Made for iPad" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod, iPhone, or iPad, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod, iPhone, or iPad may affect wireless performance.

iPod and iPhone are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries. iPad is a trademark of Apple Inc.

Class II equipment symbol:



CLASS II apparatus with double insulation, and no protective earth provided.



Note

- The type plate is located on the bottom of the unit.

2 Your Docking Entertainment System

Congratulations on your purchase, and welcome to Philips! To fully benefit from the support that Philips offers, register your product at www.philips.com/welcome.

Introduction

With this unit, you can enjoy music from iPod/iPhone/iPad and listen to radio or other audio devices.

Your iPod/iPhone/iPad and radios can be set as alarm sources. You can set two alarms to go off at different time.

You can enrich sound output with these sound effects:

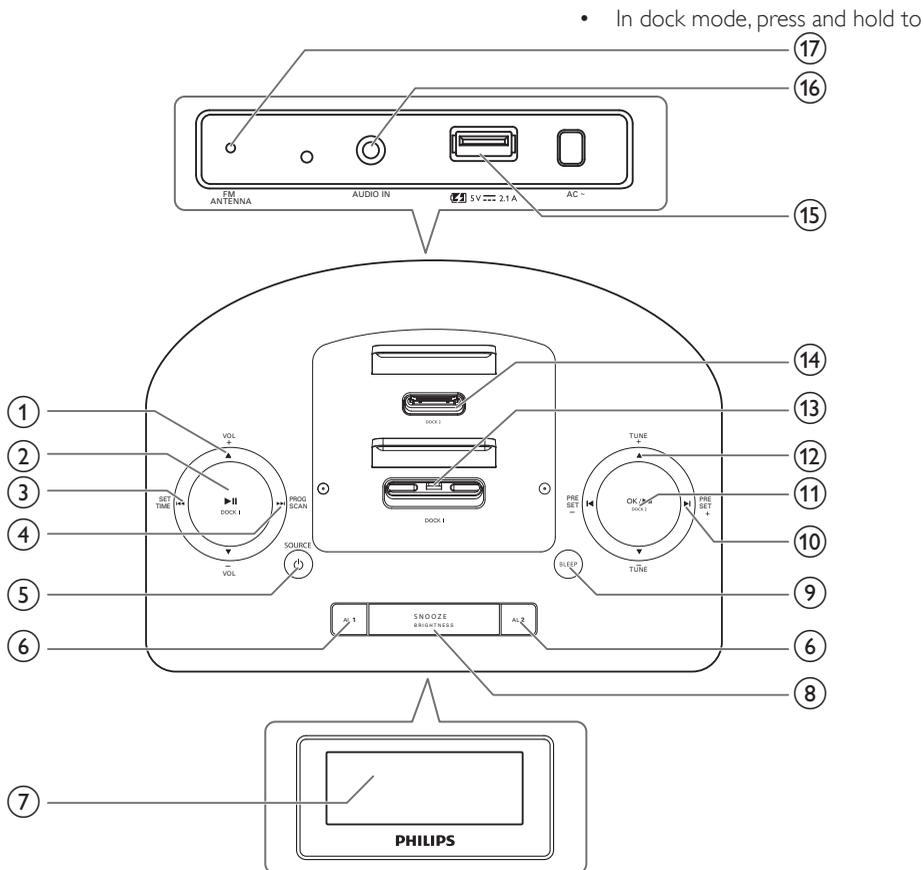
- Digital Sound Control (DSC)
- Dynamic Bass Boost (DBB)

What's in the box

Check and identify the contents of your package:

- Main unit
- Short user manual

Overview of the main unit



- In dock mode, press and hold to

- ① **VOL +/VOL -**
 - Increase/decrease volume.
- ② **▶|| DOCK 1**
 - In Dock 1 mode, start or pause play.
 - In other modes, select Dock 1 source.
- ③ **SET TIME**
 - In standby mode, set day, month and year.
 - In other modes, enable/disable DBB (Dynamic Bass Boost) or select a DSC (Digital Sound Control) sound effect.
- ④ **PROG/SCAN**
 - Program radio stations.
 - Automatically scan for radio stations.
 - In dock mode, press and hold to search within a track.
- ⑤ **⏻ /SOURCE**
 - Press and hold to turn on the unit or switch to standby mode.
 - Stop alarm.

- Select a source: DOCK 1/DOCK 2, FM or AUDIO IN.
- ⑥ **AL1/AL2**
 - Set alarm.
 - View alarm settings.
 - Activate/deactivate alarm timer.
 - ⑦ **Display panel**
 - Show the current status.
 - ⑧ **SNOOZE/BRIGHTNESS**
 - Snooze alarm.
 - Adjust the display brightness.
 - ⑨ **SLEEP**
 - Set the sleep timer.
 - ⑩ **PRESET +/PRESET -**
 - Skip to next/previous track.
 - Select a preset radio program.
 - In dock mode, press and hold to search within a track.
 - ⑪ **OK/▶|| DOCK 2**
 - In Dock 2 mode, start or pause iPod/iPhone/iPad play.
 - In other modes, select Dock 2 mode.
 - ⑫ **TUNE+/TUNE-**
 - Set time and date.
 - When setting alarm, adjust alarm clock and volume, and select a sound source.
 - Tune to an FM audio station.
 - ⑬ **Dock 1 for iPod/iPhone/iPad with Lightning connection**
 - ⑭ **Dock 2 for iPod/iPhone/iPad with 30-pin connection**
 - ⑮ **USB charging port**
 - ⑯ **AUDIO IN**
 - Connect external audio device.
 - ⑰ **FM ANTENNA**
 - Connect an FM antenna to improve FM reception.

3 Get started

! Caution

- Use of controls or adjustments or performance of procedures other than herein may result in hazardous radiation exposure or other unsafe operation.

Always follow the instructions in this chapter in sequence.

If you contact Philips, you will be asked for the model and serial number of this apparatus. The model number and serial number are on the bottom of the apparatus. Write the numbers here:

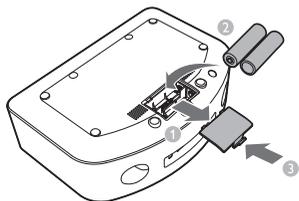
Model No. _____

Serial No. _____

Install batteries

≡ Note

- You can only use AC power as power supply. Batteries (not supplied) are for backup purpose.



- 1 Open the battery compartment.
- 2 Insert 2 x AAA size batteries with correct polarity (+/-) as indicated.
- 3 Close the battery compartment.

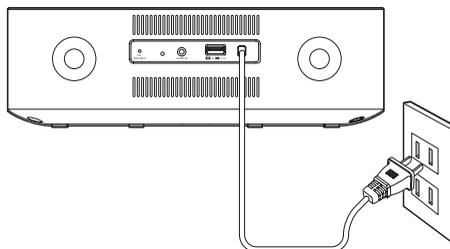
! Caution

- Risk of explosion! Keep batteries away from heat, sunshine or fire. Never discard batteries in fire.
- Risk of decreased battery life! Never mix different brands or types of batteries.
- Risk of product damage! When the remote control is not used for long periods, remove the batteries.

Connect power

! Caution

- Risk of product damage! Ensure that the power voltage corresponds to the voltage printed on the bottom of the apparatus.
- Risk of electric shock! When you unplug the AC power cord, always pull the plug from the socket. Never pull the cord.
- Before connecting the AC power cord, ensure you have completed all other connections.
- To disconnect the set from the mains completely, remove the mains plug from the wall socket.



Connect the AC power cord to the wall outlet.

Turn on

Press and hold ϕ .

- ↳ The unit switches to the last selected source.

Switch to standby

Press and hold ϕ again to switch the unit to standby mode.

- ↳ The time and date (if set) appear on the display panel.

Select source

Press **SOURCE** repeatedly to select from DOCK 1/Dock 2, FM and AUDIO IN.

Set time and date

- 1** In standby mode, press and hold **SET TIME** for 2 seconds.
 - ↳ [24H] begins to blink, and you can hear a beep.
- 2** Press **TUNE+** or **TUNE-** to select the 12/24 hour format.
- 3** Press **OK** to confirm.
 - ↳ 00:00 will display, and the hour digits begin to blink.
- 4** Repeat steps 2-3 to set the hour, minute, day, month and year.



Tip

- In 12 hour format, [MONTH--DAY] is displayed.
- in 24 hour format, [DAY--MONTH] is displayed.



Note

- When iPod/iPhone/iPad is connected, the docking unit synchronizes time from the iPod/iPhone/iPad automatically.

4 Play

Play from iPod/iPhone/iPad

You can enjoy audio from iPod/iPhone/iPad through this unit.

Compatible iPod/iPhone/iPad

The integrated dual dock unit supports the following iPod, iPhone, and iPad models:

Made for (Dock 1):

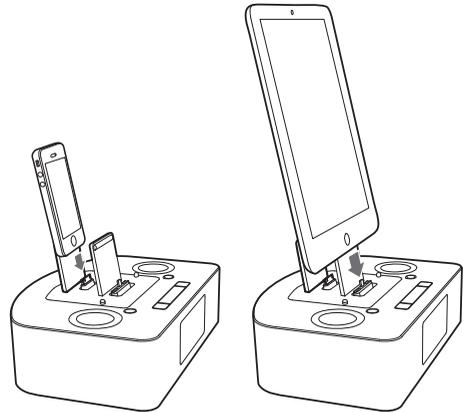
- iPod nano (7th generation)
- iPod touch (5th generation)
- iPad (4th generation)
- iPad mini
- iPhone 5

Also made for (Dock 2):

- iPod nano (2nd/3rd/4th/5th/6th generation)
- iPod classic
- iPod touch (1st/2nd/3rd/4th generation)
- iPad (3rd generation)
- iPad 2
- iPad
- iPhone 4S
- iPhone 4
- iPhone 3GS
- iPhone 3G
- iPhone

Listen to the iPod/iPhone/iPad

- 1 Press **SOURCE** repeatedly to select DOCK 1 or DOCK 2 mode.
- 2 Place the iPhone/iPod/iPad into the Dock 1 or Dock 2.



- To pause/resume play, press **▶||**.
- To skip to a track, press **◀|** / **|▶**.
- To search during play, press and hold **◀◀** / **▶▶** or **PRESET +** / **PRESET -**, then release to resume normal play.

Charge the iPod/iPhone/iPad

When the unit is connected to power, the docked iPod/iPhone/iPad begins to charge.



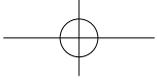
Tip

- For certain iPod models, it may take up to a minute before the charging indication appears.

Play from an external device

You can also listen to an external audio device through this unit.

- 1 Press **SOURCE** repeatedly to select the **AUDIO IN** source.
- 2 Connect a 3.5mm audio link cable (not supplied) to:
 - the **AUDIO IN** jack (3.5mm) on the back of the unit.
 - the headphone jack on an external device.



↳ the screen displays scrolling text message [AUDIO IN]; and shows date and time.

3 Start to play the device (see the device user manual).

5 Listen to radio

Note

- Only FM radio reception is available on this unit.

Note

- The preset list can store up to 20 stations.
- If the preset list is fully occupied, the screen will show P 20.
- If saving a radio station to a position that has already been occupied, the original radio station will be replaced.

Tune to a radio station

Tip

- Use an FM antenna for optimal reception. Fully extend and adjust the position of the antenna.
- Position the antenna as far as possible from TV, VCR or other radiation source.
- [STEREO] is default setting for tuner mode.
- In tuner mode, you can press and hold **DBB/DSC/SET TIME** to toggle between [STEREO] and [MONO], and the unit memorizes your setting even if you turn off the unit or turn to other sources.

- 1 Press **SOURCE** repeatedly to select FM mode.
- 2 Press and hold **TUNE+/TUNE-** for more than 2 seconds.
 - ↳ The radio tunes to next station with strong reception automatically.
- 3 Repeat step 2 to tune to more stations.
 - To tune to a weak station, press **TUNE+/TUNE-** repeatedly until you find optimal reception.

Program radio stations

Radio station preset allows you to save radio stations, and quickly tune to a favorite station.

Program radio stations manually

1. Press **SOURCE** repeatedly to enter the FM mode.
2. Press **TUNE+/TUNE-** to tune to a radio station.
3. Press **PROG/SCAN**.
 - ↳ A position number flashes.
4. Press **OK** to save current radio station to the selected position.

Tip

- Press **PRESET +/PRESET -** to change the position to save a radio station.

Program radio stations automatically

- 1 Press **SOURCE** repeatedly to enter the FM mode.
- 2 Press and hold **PROG/SCAN**.
 - ↳ The screen displays [AUTO] (auto);
 - ↳ The unit starts to scan for all available radio stations automatically, and stores them to the preset list.
- 3 Wait until the auto scan finishes.
 - ↳ The first station in the preset list broadcasts automatically.

Select a preset radio station

- 1 Press **◀/▶** to select a preset number.

6 Other features

Set the alarm timer

You can set two alarms at different times.

Note

- Ensure that you have set the clock correctly.

- 1 Press and hold **AL1** or **AL2**.
 - ↳ The hour digits begin to blink, and you can hear one beep.
 - ↳ [AL SET] (alarm set) flashes on the screen.
- 2 Press **TUNE+/TUNE-** repeatedly to set the hour.
- 3 Press **OK** to confirm.
 - ↳ The minute digits begin to blink.
 - ↳ [AL SET] (alarm set) flashes on the screen.
- 4 Repeat steps 2-3 to set the minute, select when to ring alarm, and choose alarm sound source and alarm volume.

After alarm volume is set, the unit will exit alarm setting, and you can hear two beeps.

Tip

- If you select DOCK 1/DOCK 2 as alarm sound source, when there is no device docked, the alarm will automatically switch to buzzer to ring the alarm.
- If both alarms are set to the same time, only Alarm 1 will ring.

View the alarm settings

Press **AL1** or **AL2** to view alarm settings.

Activate and deactivate the alarm timer

When an alarm setting is shown on the screen, press **AL1/AL2** repeatedly to activate or deactivate the timer.

- ↳ If the timer is activated, [🔔 AL 1] or [🔔 AL2] is displayed.
- ↳ If the timer is deactivated, [🔕 AL1] or [🔕 AL2] disappears.

Snooze

When the alarm rings, press **SNOOZE**.

- ↳ The alarm stops, and the alarm icon flashes.
- ↳ The alarm will resume ringing 9 minutes later.

Note

- When using batteries to operate, alarms can only use buzzer as sound source.

Stop alarm ring

When the alarm rings, press the corresponding **AL1** or **AL2**.

- ↳ The alarm stops but the alarm settings remain.

Tip

- You can also press **⏏** to stop the alarm. The unit will switch to the last selected source.
- If you press and hold **⏏**, the alarm will also be stopped, and the unit will switch to standby mode.
- If you do not stop the alarm, it will ring for 30 minutes.
- When an alarm rings, it shall begin from a relative low volume, and rise gradually to the highest alarm volume in 90 seconds.

Set the sleep timer

This unit can switch to standby automatically after a set period of time.

Press **SLEEP** repeatedly to select from 120, 90, 60, 45, 30 and 15 minutes.

↳ When the sleep timer is activated, the display shows **zZ**.

To deactivate sleep timer

1 Press **SLEEP** repeatedly until [OFF] (off) is displayed.

↳ The sleep timer is deactivated, **zZ** disappears on the display.

Adjust display brightness

When no alarm is firing, press **BRIGHTNESS** repeatedly to select different levels of display brightness.



Note

- When using batteries to operate, you can not select brightness levels.

7 Adjust sound

Adjust volume level

During play, press **VOL +/-** to increase/decrease the volume level step by step.



Tip

- Press and hold **VOL +/-** to increase/decrease the volume at faster speed.

Select a sound effect

During play, press **SET TIME** repeatedly to select from a preset sound effect and turn on/off dynamic bass enhancement.



Note

- The unit supports the following sound effects: **[POP]** (pop), **[JAZZ]** (jazz), **[ROCK]** (rock), **[CLAS]** (classic) and **[FLAT]** (flat).
- If DBB is activated, [DBB] is displayed.

8 Product information

Note

- Product information is subject to change without prior notice.

General information

AC power	100V~,50/60 Hz
Operation Power Consumption	44 W
Standby Power Consumption (clock display)	<1 W
Dimensions - Main Unit (W x H x D)	260 x 138 x 185 mm
Weight (Main unit, without packing)	1.13 kg

Specifications

Amplifier

Total output power	8 W
Frequency Response	80 Hz -16 kHz, ±3dB
Signal to Noise Ratio	≥ 67dBA
Aux Input (Audio in)	0.6 V RMS 20kohm

FM

Tuning Range	FM 76.0 - 90 MHz
Tuning grid	50 KHz
- Mono, 26dB quieting sensitivity	<22 dBf
- Stereo, 46dB quieting sensitivity	<51 dBf
Search Sensitivity	<41 dBf
Total Harmonic Distortion	<2%
Signal to Noise Ratio	>45 dB

Speakers

Speaker Impedance	4 ohm
Speaker Driver	57 mm
Sensitivity	>84dB/m/W

9 Troubleshooting



Caution

- Never remove the casing of this apparatus.

To keep the warranty valid, never try to repair the system yourself.

If you encounter problems when using this apparatus, check the following points before requesting service. If the problem remains unsolved, go to the philips web site (www.philips.com/support). When you contact philips, ensure that your apparatus is nearby and the model number and serial number are available.

No power

- Ensure that the AC power plug of the unit is connected properly.
- Ensure that there is power at the AC outlet.
- Ensure that the batteries are inserted correctly.

No sound

- Adjust the volume.
- Check if the unit is performing auto scan.
Volume is muted during auto scan process.

No response from the unit

- Remove the batteries from the main unit (if inserted), disconnect and reconnect the AC power plug, and turn on the unit again.

Poor radio reception

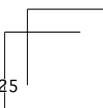
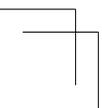
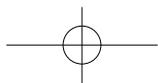
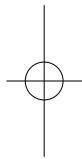
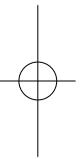
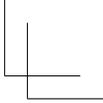
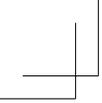
- Increase the distance between the unit and your TV or VCR.
- Fully extend the FM antenna.

Timer does not work

- Set the clock correctly.
- Switch on the timer.

Clock/timer setting erased

- Power has been interrupted or the power plug has been disconnected.
- Reset the clock/timer.



保証書と修理サービスについて
(必ずお読みください)

保証と アフターサービス

〈保証書・最終ページに付属〉

- 保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき内容をよくお読みのあと大切に保管してください。

保証 期間	お買い上げ日から1年間
----------	-------------

【補修用性能部品の最低保有期間】

- 補修用性能部品の最低保有期間は製造打ち切り後6年です。
- 性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

【ご不明な点や修理に関するご相談は】

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買い上げの販売店または、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

【修理を依頼されるときは】

- 修理をご依頼される前に、この取扱説明書をよくお読みいただき、再度点検ください。尚、異常のあるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店へご依頼ください。

【保証期間中は】

- 製品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証書の記載内容により無料修理いたします。

【保証期間が過ぎているときは】

- 修理によって商品の機能が維持できる場合は、補修用性能部品の保有期間内であれば、ご希望により有料で修理させていただきます。

【海外での本製品の保証及びアフターサービスについて】

- 本製品の保証は海外においても有効です。(同シリーズ製品の取り扱いがある国に限ります)
- 日本国以外のフィリップスサービス部門においても保証期間内及び保証期間の経過後のアフターサービスを受けることができますが、この場合多少日数を要することもあります。
- 海外にてアフターサービスを受けられる場合は、現地のフィリップスサービス部門にお問い合わせください。尚、お困りの点がございましたら下記までご連絡ください。

Philips Consumer Lifestyle Service Department P.O.Box 20100 9200 CA DRACHTEN
The Netherlands Fax:+31 51 259 2785

【お客様の個人情報のお取り扱いについて】

- お受けしましたお客様の個人情報は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

便利メモ

お買い上げ日	年 月 日	お買い上げ店名	TEL. ()
--------	-------	---------	----------

ご使用の時、このような症状はありませんか？

- 本体にさわると時々電気を感ずる。
- こげくさい臭いがする。
- 電源コード部を動かすと通電したり、しなかったりする。
- その他の異常、故障がある。



このような症状の時は、故障や事故防止のため、電源コードをコンセントから外して、必ず販売店にご相談ください。

仕 様

品 番	AJ7260D
電 源 方 式	交流式
消 費 電 力	44W (待機時消費電力1W)
定 格 電 圧	AC100-240V (50/60Hz)
本 体 質 量	約1.13kg
サ イ ズ	260(W)×138(H)×185(D) mm
定 格 出 力	2 × 4W
S N R	67dBA
A U X I N	0.6V 20kΩ
F M 受 信 周 波 数	76-90MHz

※改良の為、仕様を予告なく変更することがあります。

- フィリップス製品の修理受付はお買い上げの販売店にお申し出ください。
- 修理サービス等についてわかりにならないことは、下記にお問い合わせください。

お問い合わせ

フィリップスサポートセンター support.japan@philips.com	0120-336-634
---	---------------------

ホームページアドレス <http://www.philips.co.jp/>

フィリップス コンシューマー ライフスタイル事業部

日本販売代理店 **小泉成器株式会社** 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7

無料修理規定

〈無料修理規定〉

- 1.取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理します。
- 2.保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、商品と保証書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。なお、商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。
- 3.ご贈答、ご転居でお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合は、フィリップスサポートセンターにお問い合わせください。
- 4.保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - ① 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - ② お買い上げ後の輸送、移動、落下等による故障及び損傷。
 - ③ 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障及び損傷。
 - ④ 一般家庭以外(例えば、業務用の長時間使用)に使用された場合の故障及び損傷。
 - ⑤ 保証書の提示がない場合。
 - ⑥ 保証書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或は字句を書き換えられた場合。

※保証書は、本書に明示した条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従って保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはフィリップスサポートセンターにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理・補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書の保証とアフターサービスの項目をご覧ください。

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書の控え)は保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございます。ご了承ください。また個人情報は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

フィリップス FMラジオドッキングスピーカー 保証書 持込修理

CERTIFICATE OF PURCHASE

この保証書は、「無料修理規定」記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げの日から下記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様にご記入いただいた個人情報(保証書の控え)は、株式会社フィリップスエレクトロニクスジャパンのホームページ <http://www.philips.co.jp/> に掲載されている「お客様の個人情報の取り扱いについての当社の方針」に基づき適切に管理いたします。

品名	FMラジオドッキングスピーカー
品番	AJ7260D
保証期間	お買い上げ日より1年
対象部分	本体
お買い上げ日	年 月 日
お客様	ご住所〒
	ご芳名
	電話番号
★販売店	販売店名・住所・電話番号

- ★ 保証書は再発行しませんので、大切に保管してください。
- ★ ご販売店様へ この保証書はお客様へのアフターサービスの実施と責任を明確にするものです。贈答品、記念品の場合も含めて必ず記入捺印してお客様にお渡しください。

お問い合わせ

フィリップスサポートセンター support.japan@philips.com 0120-336-634

対応時間：平日10:00~18:00 (土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く)

- 東日本修理センター 〒344-0127 埼玉県春日部市水角1190
- 西日本修理センター 〒559-0033 大阪市住之江区南港中1丁目3番98号

日本販売代理店 小泉成器株式会社 〒541-0051 大阪市中央区備後町3-3-7 TEL:06-6262-3561